国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令 和 ８ 年 11 月 10 日
海事局総務課国際企画調整室

IMO がドミンゲス事務局長の再任を決定
～国際海事機関（IMO）第 138 回理事会の開催結果概要～

国際海事機関（IMO）は、令和８年 11 月２日から６日まで開催された第 138 回理事会において、IMO 事務局長の次期任期（任期：2028 年１月～2031 年 12 月）に向け、現職のアルセーニョ・ドミンゲス氏（パナマ）の再任を決定しました。

我が国は、現職のドミンゲス事務局長が、2024 年１月の就任以降、紅海・ホルムズ海峡での自由で安全な航行の確保、船舶からの温室効果ガス削減など、海事分野の重要課題に精力的に取り組んでいるとして同氏の再任を強く支持するとともに、IMO の重要性と事務局長による引き続いてのリーダーシップへの期待を表明しました。

IMO 理事会は、２年毎に選出される 40 の理事国により、船舶・船員の安全や環境に関する主要事項や、IMO の運営に関する諸事項を審議します。我が国は、1958 年の IMO 加盟以来、一貫して理事国に選出されており、理事会の審議に積極的に参画・貢献しています。

今次理事会の日程及び主な議題は以下の通りです。

【会議日程】
2026 年 11 月２日～６日（於　英国ロンドン・IMO 本部）

【主な議題】

１．重要な海上航路の保護・・・・ホルムズ海峡等の自由で安全な航行を要請

２．次期 IMO 事務局長の選任・・・現職のドミンゲス事務局長の再任を決定

３．IMO 運営の諸事項・・・・・・財務報告を承認

４．IMO ジェンダー平等賞・・・・北田桃子氏への表彰を報告、来年の表彰者を決定

それぞれの主な審議結果は別紙をご参照ください。

【問い合わせ先】
海事局総務課国際企画調整室　岩城、中島
代表：03-5253-8111（内線 45-601，45-623）、直通：03-5253-8656

別紙

IMO 第 138 回理事会　主な審議結果

１．重要な海上航路の保護

我が国を含む多数国が、航行の自由が国際海運の根本原則であること、船舶及び船員の安全確保が死活的に重要であること、ホルムズ海峡の通航は従来通り追加的な費用を課されるべきでないこと、を強調の上、同海峡の安定的な通航の再開に向け、全ての関係国に対して IMO への協力を呼びかけました。

これら議論を踏まえ、理事会は、国際海峡を含む海上航路が国際法に基づき今後とも安全かつ自由に解放されるべきであることを改めて強調しました。また、商船・船員に対するあらゆる攻撃の即時停止を強く求めました。

２．次期 IMO 事務局長の選任

IMO 事務局長は、任期４年（最大２期まで）であり、理事会が選出します。2024 年１月に初就任した現職のアルセーニョ・ドミンゲス事務局長は、2027 年 12 月に第１期の満了を迎えることから、今回の理事会では、次期 IMO 事務局長を審議しました。

我が国は、現職のドミンゲス事務局長が、2024 年１月の就任以降、紅海・ホルムズ海峡での自由で安全な航行の確保、船舶からの温室効果ガス削減など、海事分野の重要課題に精力的に取り組んでいるとして同氏の再任を強く支持するとともに、IMO の重要性と事務局長による引き続いてのリーダーシップへの期待を表明しました。

審議の結果、理事会は、現職のドミンゲス氏の次期任期（任期：2028 年１月～2031 年 12 月）への再任を決定しました。ドミンゲス事務局長の再任は、来年開催される IMO 総会で改めて審議のうえ、最終的に承認される予定です。

３．IMO 運営の諸事項

理事会は、2026 年９月末時点の IMO 財務状況報告書を審議しました。審議の結果、当初予算額の範囲内で計画通りの活動を実施したと認められ、同報告書を承認しました。我が国は、国際海事分野の諸課題に対処すべき IMO の重要性が高まっている中、事務局に対して引き続いての効率的な運営を求めるとともに、理事国として IMO のあらゆる活動に精力的に貢献するとの意思を表明しました。

この他、IMO の会議運営規則について、国連総会の規則に整合させるための改訂を行いました。

４.IMO ジェンダー平等賞

国際海事機関（IMO）は、毎年、海事分野でのジェンダー平等の取組推進に貢献した人物・団体に「ジェンダー平等賞」を授与しています。

今回の理事会では、2026 年の受賞者として、本年５月 18 日に、日本がノミネートした世界海事大学（WMU）の北田桃子教授に対して英国ロンドンの IMO 本部で授賞式を行ったことが報告されました。

さらに、2027 年の受賞者を以下の通り決定しました。

＜2027 年ジェンダー平等賞＞　大連工科大学　ユー講師（中国）
（同・表彰状）　DFDS 社　グリフィン副社長（デンマーク）

以　上